

おいしいね!

生活協同組合アイチョイス岐阜
理事長 子安 貞継
☎058-215-5566

2025.12月
墨色号

墨という漢字は黒と土でできています。縄文時代に土器を焼いてきた煤(すす)が黒い色材となつたことからとも言われています。墨の濃淡やぼかして描かれる水墨画は一目みると墨色の濃淡であるのに目の奥には一色一色が細やかに浮かんでくるような気がします。雪が降る冬よりと冬の空もそんな気持ちで見ると違つた景色に見えてくるのかもしれません。

特集



行き
たくなる
参加したくなる
顔が見たくなる

あいたくなる生協交流会 ~つくる人と食べる人がつながる日~

2025年9月23日(火祝)

今回のテーマ会は「あいたくなる生協交流会~つくる人と食べる人がつながる日~」と題して生産者さんとメーカーさん来ていただきました。組合員さんが4つのグループに分かれ、生産者・メーカーさんが順番にテーブルを回つていただき交流するスタイル。アイチョイス岐阜にとっては初めての試みでした。

初めてなので今回は馴染みのある岐阜の生産者、メーカーさんに来ていただきたいという思いから4つの生産者、メーカーさんに決まりました。



■飛騨市 ありがとうファーム 雲英(きら)さん



■八百津町 内堀醸造 小酒井さん(左)

■美濃市 美濃酪農農業協同組合連合会
(以下:美濃酪連) 佐藤さん■関市 トーエー食品さんの代打で
アイチョイス岐阜・浅野専務

祝日開催ということもありご家族や親子で参加していただける組合員さんが多く、賑やかな会場でした。今回は、企画していたトーエー食品さんが体調を崩され残念ながら欠席になり、急遽1グループをアイチョイスの専務が担当し、お話をという事になりましたが、1グループ20分という時間をフルに使い、たっぷりお話を楽しんでいただきました。

「ありがとうファーム」の雲英さんは飛騨市神岡から朝の収穫作業をしてから2時間かけて来ていただきました。関東で農業をしていた雲英さんは東日本大震災を機に安全な土地を求めていたところ、今の場所や水に惚れて移住されたそうです。近くでは縄文土器も出土している地域。そんなずっと大切に守られてきた土に感謝して野菜を育ててみえます。

みんなで朝採れトマトの試食をいただきました。

「美濃酪連」さんは牛乳の飲み比べをしながらのお話でした。いろんな牛の乳が届くそうですが、アイチョイスで取り扱っている「えーね牛乳」はどこの乳か特定されている1番こだわりの牛乳だそうです。またの中でも低温度殺菌牛乳は絞りたてに近い味で、質が高い乳でないとできないのだと。飲んでみると違ひがはっきりと分かりました。

「内堀醸造」さんは「かぶの千枚漬けの酢」に漬けたかぶとフルーツビネガーを試食しながら。「お酢作りはお酒作りから」といわれ、お酢はお酒から出来ているから、お酒の数だけ酢があり、内堀醸造さんでは伝統的な方法で丁寧に作られているそうです。本物のお酢作りなのです。

今回の試飲のお酢はその場でコラボしようという事になりフルーツビネガーを美濃酪連さんの牛乳で割って、飲むヨーグルトのようにも楽しめました。

急遽決まった「アイチョイス」のお話は…カタログをもとにお取り扱い商品のお話をしたり、それぞれ気になっていることを質問していました。なかなか普段は聞けないお話を聞くいい機会だったのかもしれませんね。

どのグループでもお話を聞きながらメモを取ったり、質問をしてお話を深まつていました。生産者さんやメーカーさんに実際にお会いし商品に対するこだわりや熱い思いを聞くことで今までカタログで知っているだけより、より身近に、そしてファンになつただけたのかな、と思います。つくる人と食べる人がつながる、顔の見えるお買い物は大事ですね。

今後もいろんな生産者、メーカーさんとつながっていきたいな、と思いました。
【理事Y.N】



参加された生産者さん・メーカーさんの感想

美濃酪連：佐藤尚子さん

あいたくなる生協交流会へお招きいただき、ありがとうございました。

普段の紙面だけでは伝えきれない、あふれる思いを語らせていただきましたが、まだまだ皆さんに知つてもらいたいことが沢山あります!!

これからも「えーね牛乳」を始めとする、美濃酪連の製品と地元岐阜県の酪農家さんのことを発信していきます。組合員さんにとつて身近な存在でいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

ありがとうファーム：雲英顕一さん

交流会にお招きを頂きました誠にありがとうございました。

有機農業の現場のことを少しでもお伝えできればとお話をさせていただきましたが、組合員の皆様のご感想などはいかがでしたでしょうか。

わたくしたち飛騨の生産者も組合員様が食べてくださることで、つながっていることの認識をさらに強く持ち共有させていただき、安定した供給につなげてゆけるように生産をしてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

内堀醸造：小酒井隆允さん

内堀醸造は岐阜県八百津町にある酢専業メーカーで、来年で創業150周年となります。

アイチョイス様への取組は3年ほど前より始まりまして、まだまだ組合員さんへは、内堀醸造の商品のこだわりを伝えられていないのが現状です。「酢作りは酒作りから」を基本理念にしており、玄米から精米・麹造り・酒造りと一貫して丁寧醸造して酢作りを行つております。

内堀のこだわりの酢造りが伝わるよう魅力を発信してまいります。



地域貢献活動 「岐阜公園～川原町 周辺、金華山清掃」

9月27日(土)
岐阜市岐阜公園周辺

金華山の清掃活動に参加しました。金華山に登るのは今回が初めてで、事前に聞いてはいましたが、実際に山道を登り始めると、体力的な厳しさを感じ、正直なところ「大変だ」というのが第一の感想でした。しかし、活動を始めてみると、道中に落ちているごみは予想していたよりも少なく、日頃から金華山の美化に努めている方々の存在を感じることができました。私たちが行った活動が、地域の役に立っていると思うと、体力の消耗も気にならなくなりました。[職員N]

被爆・戦後80年記念講演会
核兵器のない世界
を目指して
～「核抑止」では平和は
守れない～
10月11日(土)
ぎふメディアコスモス
みんなのホール

地域見守り協定 締結

見守り協力事業連携締結式
10月28日(火)
瑞穂市役所

岐阜市高齢者見守りネットワーク
事業の実施に係る協定 締結式
11月4日(火)
岐阜市役所



岐阜市での見守り協定締結式に参加しました。
岐阜市では自治会に参加する人も50%ほどのこと、地域でのつながりがなくとも生活はして行けます。でも、何かあったときにすぐ気づける環境はやっぱり必要。
私も離れて暮らす高齢の家族がいるので、どうしているか気になることもあります。
毎週の配送のタイミングで声をかけてもらえるなど、こういった見守る目が増えることは、とてもありがたいい取り組みだと思っています。[理事N.K]

この取り組みは、県内の協同組合(生協、農協、酪連)でつくる「岐阜県協同組合間提携推進協議会」の取り組みとして毎年実施しているもので、構成団体の役職員など25名(内アイヨイス岐阜から11名の役職員と組合員理事・監事)が参加しました。

今年は爽やかな秋晴れの下、「岐阜公園～川原町班」と「金華山班」に分かれ清掃活動を行いました。「岐阜公園～川原町班」は、今年オープンした岐阜樂市や鶴飼の観覧船乗り場周辺など観光名所を広く歩き、「金華山班」は「七曲り登山道」から頂上の岐阜城までのコースを、それぞれ約2時間かけてごみ拾いを行いました。



岐阜公園周辺のごみ拾いに初めて参加しました。
天候にも恵まれ、気持ちよく活動することができました。公園周辺を歩いてみると、ごみが思った以上に少なく、地域の方々の環境への意識の高さを感じました。また、初めて川原町を訪れ、趣のある古い町並みを知ることができたのも新しい発見でした。ほどよい汗をかきながら、心もすっきりとする有意義な時間となりました。
次回は金華山登山コースでのごみ拾いにもぜひ参加したいと思います。[職員M]

核兵器廃絶を目指し活動する「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会(生協アイヨイス岐阜も団体会員として参加)」が主催し、講師には、ノーベル平和賞を受賞した国際NGO「ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)」の国際運営委員であり、国際交流NGOピースボートの共同代表でもある川崎哲さんを迎える約150名が参加、アイヨイス岐阜からも数名の役員、組合員が参加しました。

川崎さんが、「核兵器は戦争を防ぐどころか、むしろ核武装国による戦争の引き金となる危険性がある。」「軍事力に対抗する準備ではなく、軍事力を使わない平和の準備こそが必要」と語られた姿が印象的でした。[理事長]

生活協同組合アイヨイス岐阜の組合員数も20,000名を超え、生活協同組合の責務でもある地域生活者に対するお役立ちや地域への貢献にも目を向けて進めていく段階にあると考えています。

組合員世帯の約2割が高齢者のみの世帯であり、安心して暮らせる地域づくりに生協としての役割が求められています。現在も配送時に異常を感じた際には個別に対応していますが、今後は各自治体と「見守り協定」を締結することで、仕組みとして地域の安全・安心を支える体制を整えます。これにより、配送担当者の見守り意識の向上や組合員・職員ともに「地域に貢献している」という実感が生まれ、生協の社会的存在価値の向上にもつなげていきたいと思っています。

3ヶ年の計画を立てて配送エリアの各自治体と「見守り協定」の締結を進めていきます。[専務]

岐阜市での見守り協定締結式に参加しました。
岐阜市では自治会に参加する人も50%ほどのこと、地域でのつながりがなくとも生活はして行けます。でも、何かあったときにすぐ気づける環境はやっぱり必要。
私も離れて暮らす高齢の家族がいるので、どうしているか気になることもあります。
毎週の配送のタイミングで声をかけてもらえるなど、こういった見守る目が増えることは、とてもありがたいい取り組みだと思っています。[理事N.K]

瑞穂市の締結式が行われ参加してきました。
瑞穂市と生協が協力する事により安心がひとつ増えます。
配達時、ドライバーさんが地域の方の異変に気づき素早く対応できるので助かる命が増えるかもしれません。生協は買い物をするだけでなく普段の生活に欠かせない存在だと改めて実感しました。[理事H.I]

瑞穂市の締結式が行われ参加してきました。
瑞穂市と生協が協力する事により安心がひとつ増えます。
配達時、ドライバーさんが地域の方の異変に気づき素早く対応できるので助かる命が増えるかもしれません。生協は買い物をするだけでなく普段の生活に欠かせない存在だと改めて実感しました。[理事H.I]



野菜くらぶ 产地訪問

11月6日(木)
静岡県 菊川市



菊川市の農業法人「野菜くらぶ」の見学に行ってきました。

「野菜くらぶ」は創業30年で群馬県に本社があり、静岡県の他に青森県や長野県にも出荷場があります。「良い土」は「良い人」をつくり、感動を生む農業へつながることを経営理念にされています。

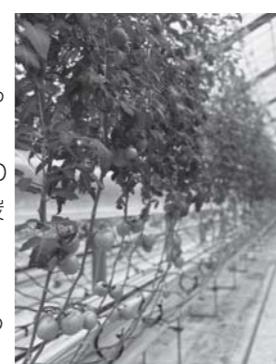
まず最初に集荷場の説明を聞きました。初めて見た真空冷却機は遠距離に野菜を運ぶときの劣化を防ぐためもので、野菜を芯まで冷やし水分を飛ばす機械。また、大きな建物は全部が冷蔵庫になっていて3度から5度に保たれ、天井には劣化を防ぐためエチレンガスを吸収する装置が取り付けられていました。野菜を可能な限り良い状態で消費者に届けたいという思いを感じました。

レタスの圃場見学で驚いたことは、7月初旬まで水田だったところに畝(うね)を作り、レタスの栽培をされていたことです。作られている玉レタスは、見た目には違いが判らなかったのですが、3種類植えられていて気温によって生育が違うし、味も微妙に異なるところで、実際に食べ比べをさせてもらいました。葉の厚みだったり味の好みは人それぞれでしたが、気候などに適応する品種を選び、ビニールをかけたり外したりして温度調節するなど、わが子を育てるようなレタスへの愛が伝わってきました。

次に見学したのはモスファーム・サングレイスさんのハウス栽培のトマトです。風速40メートルまでは耐えられるというしっかりとしたハウスは、自動で天窓の開閉や遮光がなされたり、苗が腰の高さに植えられ、LEDライトが付けられるなど管理がしっかりなされていました。LEDライトは光合成の補光用のため、そのほかにも二酸化炭素不足にならないように穴の開いた長い袋を取り付けてあり、そこに二酸化炭素が送られ葉にいきわたります。7月中旬に苗を植えて翌年の6月中旬まで収穫されるそうで、作業が楽なようにできる限り機械化されていました。

いずれの圃場でも人手は外国人の方が多い
野菜くらぶ全体で100名ほどの方が働いて
みえるそうですが、説明をしてくださった、
小林さんは「私たちは彼らを家族のように思つ
ています」とおっしゃった言葉が温かくて、そ
ういう思いが人づくりにつながっているのだ
と思いました。[理事H.I]

産地訪問企画は初めての参加でした。
実際に現地で直にお話を伺うと、多くの苦労をされながらいかに野菜の声を聴いて手間をかけてみえるかがよくわかりました。また人や土に対しても育てていく姿勢や理念、10年後の未来へ向けての目標や夢を持ち、未来へ種をまき続けるという考えに、作る人々の強い思いを感じました。
今回の学びを周囲に広げていく事が大事だと思いました。
[監事I.O]



2025年度 第3回理事会

2025/8/28 生協富加センター会議室 他
出席:理事10名(11名中)監事4名(4名中)

【協議決定事項】
市町村との地域見守り協定締結に向けた理事会提案について
2025年7月31日現在の2項組合員数について

【報告事項】月次決算報告について		
供給高	7月	238,374千円 予算比 (99.1%) 前期比 (108.8%)
	7月までの累計	909,645千円 予算比 (99.4%) 前期比 (110.1%)
経常収益金	7月	426千円 7月までの累計 3,379千円
仲間づくり(組合員拡大)	加入件数	7月 266件 (計画360件) 7月末の組合員数 22,035人 前期比 (108.0%)

2025年度 第4回理事会

2025/9/25 生協富加センター会議室 他
出席:理事11名(11名中)監事4名(4名中)

【決議事項】
岐阜県身体障害者福祉協会への賛助会員申込みについて
【協議決定事項】
2025年度アイヨイス岐阜 監事監査方針と計画について
アイヨイスくらしの安心委員会の設立について
アイヨイスグループ2026年度方針
・計画策定スケジュール案について
2025年8月31日現在の2項組合員数について

【報告事項】月次決算報告について		
供給高	8月	200,215千円 予算比 (98.2%) 前期比 (101.5%)
	8月までの累計	1,109,860千円 予算比 (99.2%) 前期比 (108.5%)
経常収益金	8月	2,531千円 8月までの累計 5,910千円
仲間づくり(組合員拡大)	加入件数	8月 280件 (計画335件) 8月末の組合員数 22,208人 前期比 (107.9%)

2025年度 第5回理事会

2025/10/23 生協富加センター会議室 他
出席:理事11名(11名中)監事4名(4名中)

【決議事項】
「令和の百姓一揆in愛知」開催案内と協賛について
【協議決定事項】

地域活動サポートの取り組みについて
総代交流会企画について
2025年度コミュニケーション企画について
2025年9月30日現在の2項組合員数について

【報告事項】月次決算報告について		
供給高	9月	217,499千円 予算比 (93.3%) 前期比 (108.1%)
	9月までの累計	1,327,363千円 予算比 (98.2%) 前期比 (108.4%)
経常収益金	9月	2,773千円 9月までの累計 8,653千円
仲間づくり(組合員拡大)	加入件数	9月 311件 (計画455件) 9月末の組合員数 22,397人 前期比 (107.4%)

● 募金のご報告 ●

能登半島地震被災地支援 (子どもツアーアクション)

募金募集期間 7月3回～8月1回の3週

アイヨイス岐阜の組合員から190,500円
(あいち、一宮の3生協合計で1,681,000円)
内159,709円を8/25の「穴水→名古屋子ども交流ツアーアクション」の一部にあて、残り1,521,291円を能登半島地震の支援で活動中のNPO法人レスキュー・ストックヤードへの支援金として送金しました。

九州地区を中心とした豪雨災害支援

募金募集期間 9月3回～10月1回の4週

アイヨイス岐阜の組合員から29,800円
(あいち、一宮の3生協合計で322,800円)
連合会アイヨイスからの支援金67,200円を加えた390,000円を被災された5つの生産者グループ間へ送金しました。